

市民憲章の策定に向けた 意見聴取結果

(伊豆の国市企画財政部企画課)

令和6年5月

目次

分類	属性	意見聴取方策／ヒアリング団体	
小中学生	小／中学生	小中学生への意見聴取	3
	中学生	中学生の総合的な学習	4
市民	市民	意見募集	5
	市民／まちづくり団体	市民ワークショップ	6
	市民	パネル展示&シール投票	7
	市民	パネル展示&フリップ写真	8
団体ヒアリング	外国人	日本語かいわ会	9
	女性／子育て世代／市外	ガールスカウト静岡第104団	10
	障がい	ラブ&スマイル	11
	障がい	もくせい苑	12
	障がい	IZUハンドアートプロジェクト	13
	女性	子育てに関する取組アンケート	14
若手職員	若年／市職員	市役所 若手職員ワークショップ	15
	若年／市職員	市役所 新規採用職員研修（総合計画）	16
	参考資料	「#いずのくにぐらし」Instagramフォトコンテスト	17

1 小・中学生への意見聴取

- 市内の小学5～6年生および中学1～2年生を対象にした意見募集を実施。
- 意見聴取にあたっては、生徒配布のタブレット端末を活用し、LoGoフォーム（WEB形式）で回答を実施。

実施概要

募集内容	① 伊豆の国市の好きなところは？ ② どんなまちにしたいか？ ③ あなたが考える住みよいまちとは？
募集期間	令和5年12月11日～令和6年1月14日
回答方法	LoGoフォーム（WEB回答形式）
回答件数	1,329 件



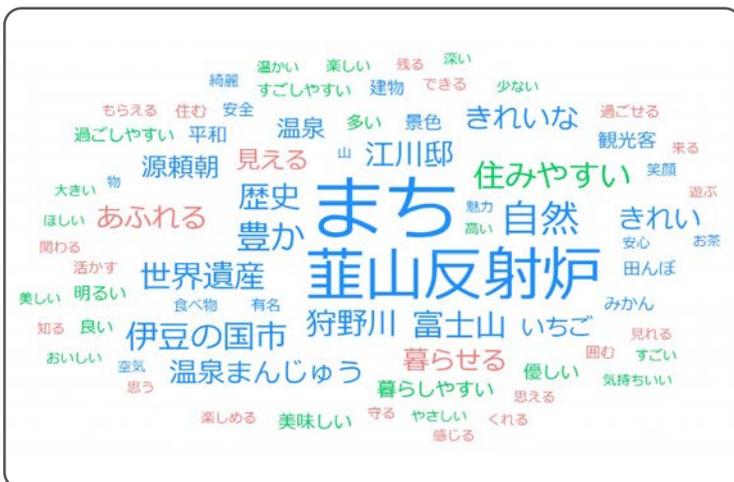
頻出ワード

韮山反射路 世界遺産 狩野川 富士山 住みやすい
 自然 溢れる きれいな 過ごしやすい 平和
 温泉まんじゅう いちご 歴史 源頼朝 温泉
 観光客 笑顔 美味しい 優しい
 挨拶 安全 活気

特徴的なワード

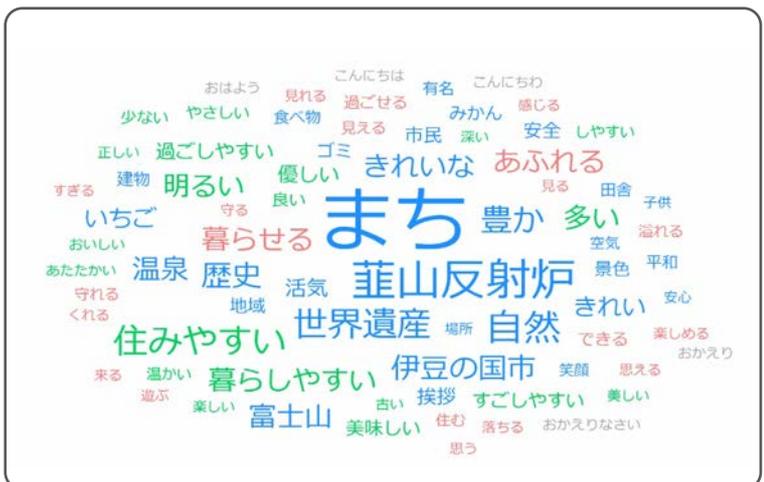
みんなが幸せで暮らせるまち
 たくさんのいい思い出ができるまち
 高齢者までが楽しく元気になる
 地球環境に配慮したまち、ゴミのないきれいなまち
 外国人や観光客を笑顔で受け入れる
 今ある伝統をこれからの未来に繋げていく
 田んぼで四季を感じられる
 SDGsが達成できる

中学生



集計単語数 24,065語

小学生



集計単語数 29,069語

2 中学生の総合的な学習

- 韮山中学校および大仁中学校の3年生が“伊豆の国市の未来を考える”をテーマにした総合学習を実施。
- 総合学習では、地域の特徴やよさとともに、現在地域が抱えている課題について考えまとめた、よりよいまちづくりのための意見発表会を実施した。

発表テーマ

韮山中学校 (班別学習)

- | | | |
|---------------------------|------------------------|---------------------|
| 1. 観光客がたくさん来る町にするために | 11. インターネットを活用したまちづくり | 21. 伊豆の国市の観光と食について |
| 2. 少子高齢化の観点から他の地域と比べて | 12. 反射炉 ～ニュース風に紹介～ | 22. 伊豆の国市の食について |
| 3. 高齢者や子育ての支援から | 13. 伊豆の国市の観光について | 23. 伊豆の国市の観光客について |
| 4. 伊豆の国市を自然を活かした観光地にするために | 14. 伊豆の国市を人と自然があふれるまちに | 24. 伊豆の国市の農業について |
| 5. 伊豆の国市とサステナブルツーリズム | 15. エネルギッシュなまち | 25. 若者中心のまちづくり |
| 6. 伊豆の国市の国際化を進めよう | 16. 少子高齢化対策 | 26. 活気のあるまち |
| 7. サイクリングコースを作るう | 17. キャンプで伊豆の国市を盛り上げる | 27. 市民の皆が誇りに思うこと |
| 8. 温泉による活性化 | 18. 伊豆の国市の自然な魅力 | 28. 観光客がたくさん来るために |
| 9. 楽しいまちづくり | 19. 伊豆の国市の観光と食について | 29. 災害に強いまち |
| 10. 老若男女が過ごしやすいまちづくり | 20. 温泉で街を活性化しよう | 30. 毎日を安心・安全に過ごすために |

大仁中学校 (個人学習)

- | | | |
|------------------------|-----------------|-------------|
| 1. 伊豆の国市にどんな街になってほしい? | 5. 未来への提言 | 9. 伊豆の国市の未来 |
| 2. 私たちの市の未来のために | 6. 伊豆の国市について | |
| 3. 住みよい伊豆の国市にするために | 7. 伊豆の国市について | |
| 4. 伊豆の国市が持続可能なまちになるために | 8. 伊豆の国市の未来を考える | |

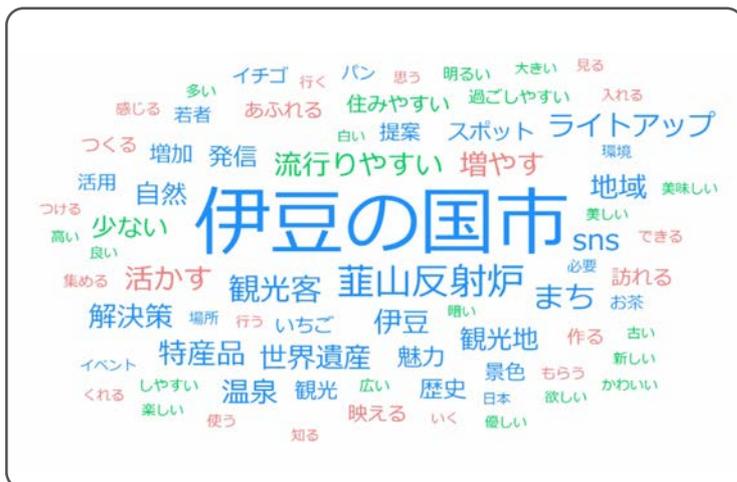
頻出ワード

韮山反射路 世界遺産 観光地 生かす 特産品
魅力 歴史 ライトアップ 流行りやすい SNS
発信 増やす 地域 住みやすい 温泉 訪れる 自然

特徴的なワード

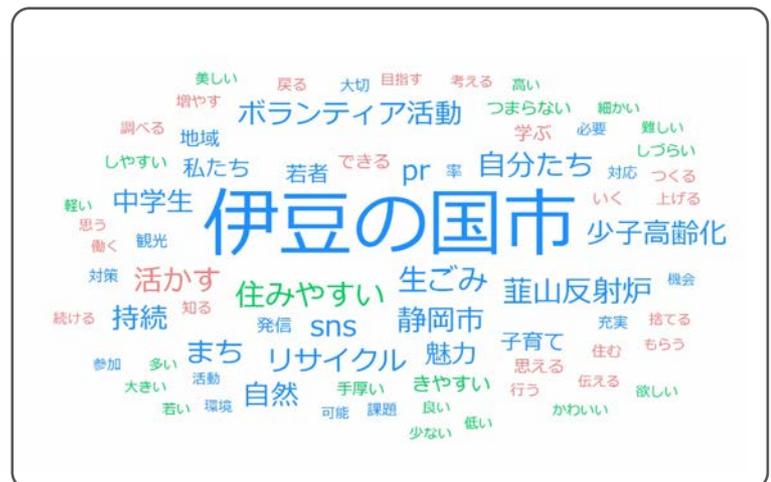
サステナブルツーリズム インバウンド 温泉の魅力
日本ならではの懐かしい景色 歴史を感じられる温泉外
素朴な雰囲気漂う穴場的温泉
今の時代にあったまちづくり 公共交通機関の設立
エネルギーに溢れるまち 地域の人のおもてなし
身近にあるせいで魅力が分かりにくい
食品ロス削減 SDGsに貢献
有害鳥獣のジビエ化 グローバル化の進んだ伊豆の国市に
小さなことから始めることが私たちにできること

韮山中学校



集計単語数 12,697語

大仁中学校



集計単語数 6,214語

3 意見募集

- 広く市民から“伊豆の国市に対する想い”を募集。
- 意見募集とあわせて、広報媒体（広報紙やLINEなど）の活用や包括連携協定締結先の企業と連携し、市民への周知を実施。

実施概要

募集内容	① 伊豆の国市の魅力（自慢や誇りなど） ② 伊豆の国市をどんなまちにしたいか？ ③ あなたが考える住みよいまちとは？
募集期間	令和5年12月1日～令和6年1月31日
回答方法	応募用紙 または LoGoフォーム
回答件数	22 件

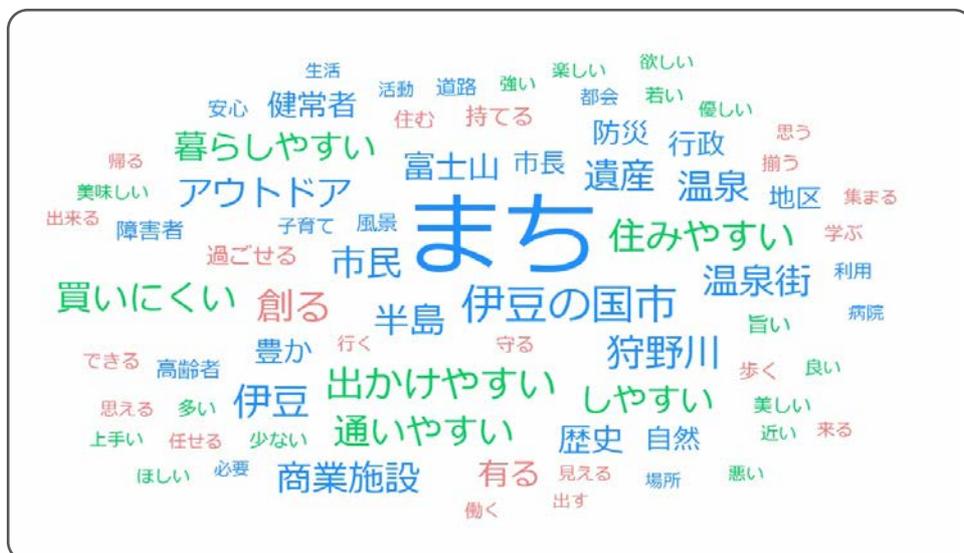


頻出ワード

出かけやすい 通いやすい 住みやすい 健常者
障がい者 狩野川 温泉街 温泉 防災 アウトドア
富士山 遺産 歴史 自然 創る 豊か 商業施設

特徴的なワード

自然豊かな街の中に、静岡県を底支える病院がある
伊豆半島のハブ 田中山たくあん 高原こんにやく
庭付き駐車場付きのマイホームが持てる 住民が温厚
行政任せでなく地域住民が協働でまちづくり
ゆったりとした雰囲気 地ビールがある
自然エネルギーを中心にしたまちづくり
自然と共に健やかに子育てもできる住みやすいところ



集計単語数 4,164語

4 市民ワークショップ

- まちづくり団体からの推薦者13名と公募市民1名から成る参加者14名が3グループに分かれて討議を実施。
- ワークショップ当日は、市民憲章審議会の中野副会長がファシリテーターを務めた。

実施概要

開催日時	令和5年12月10日	
参加者	14名	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設業協会若手の会 ● 消防団 ● 女性消防団 ● 伊豆長岡温泉EM ● 社会福祉協議会 ● PTA連絡協議会 ● 公募市民（大学生）
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミニレクチャー「市民憲章について」 2. ワークショップ「伊豆の国市の未来を考える」 <ul style="list-style-type: none"> ● 30年後に伝えたい伊豆の国市のよいところ ● こんな伊豆の国市はイヤだ！／最高だ！ 	



討議内容・結果

伊豆の国市のよいところ

A班

温泉 伊豆箱根鉄道の沿線 鎌倉殿の13人
観光 農業 順天堂 反射路ビール スポーツ
果物狩り 花火大会 江川邸 葦山反射炉
2つの世界遺産が同時にみれる
都心からのアクセス最高 お散歩市
湯治 狩野川

こんな伊豆の国市はイヤだ

子育てしづらい 事故が多い 物価が高い
本屋が少ない 学習スペース提供してほしい
差別される 偏見をもたれる 道路がせまい
道が悪い 地産地消できない 観光客通過点
夜が怖いまち（治安が悪い）
狩野川の鮎が少ない ゴミだらけのまち

こんな伊豆の国市は最高だ

足湯がある 健康寿命No.1 出生率No.1
交通量が案外少ない 体育館が借りられる
観光基地化 飲み屋が多い 世界遺産がある
参考書等の取り扱いがある本屋がある
地区ごとに協力しあえる
火災が少ない 老後も生活しやすい
就職先がたくさんある 温泉入り放題

B班

自然 環境 歴史 食文化 温泉 農産物
産業 LGBTQ 自然が豊か 顔見知り
あいさつし合える 海外から来客が多い
花火 高齢者を思いやるまち 文化活動

医療費が高い 川にゴミを捨てる 工場だらけ
ゴミを出すときに名前を書かない人がいる
人口減少 温泉がなくなる 治安が悪い
赤信号で走る人 祭りが無い
歴史を知らない マイノリティが住めない
旧3町で喧嘩

雪がふらない いつでも富士山が見えるまち
夜ひとりで飲みに行ける 子どもが多い
医療が進んだまち 温泉無料 災害に強い
電車、バス、タクシーが無料
旧3町で語らない どこにでもWi-Fiがある
医療費無料

C班

葦山反射炉 江川邸 願成就院 国清寺
いちご 星 自然 葛城山からの富士山の景観
学校への便 商業施設 水田 古川 浮橋
狩野川 課外活動（地域づくり）
温泉まんじゅう 足湯 若手の会 消防団
お散歩市 県外からの受け入れ

過疎 子どもに元気がない 老人だらけ
小中学校が減っている 若者に冷たい
災害に弱い 倒木が多い インフラ機能低下
道がボコボコ イベントの減少 交流の減少
旧3町のなわばり意識 孤独 閉鎖的
病院が遠い 買い物不便 川が汚い

医療の充実 市民の参画 車がいない
災害対策 地域イベントへの参加 家賃が安い
水道が保証されている 居場所がある
孤独にさせない地域 人口8万人
若年層日本一 歴史を分かりやすく感じられる
全ての道が広い 山がしっかり管理されている
地元の商店に活気がある 健康寿命全国一位

5 パネル展示&シール投票

- 市民憲章の策定に向けた取組について市民へ周知するため、“アピタ”と“中央図書館”でパネル展示を実施。
- パネル展示とあわせて、“シール投票形式”での意見聴取を実施。

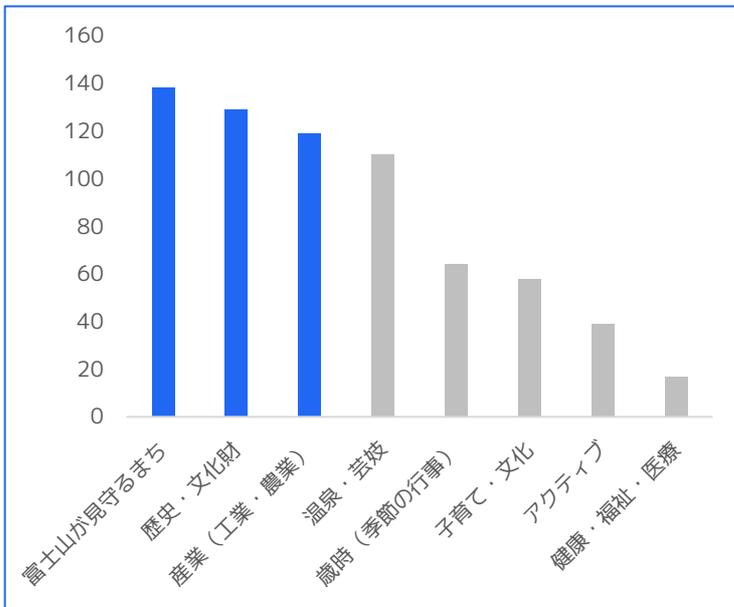
実施概要

実施期間	アピタ大仁店 …令和6年1月5～12日 中央図書館 …令和6年1月16～31日
回答総数	674件 (337名)



投票結果

伊豆の国市の好きなおとこ



特徴的なワード

ラジオが面白い（FMいずのくに）

人情穏やか

水がおいしい

富士山と駿河湾が一緒にみれる田中山に癒される

北に富士山、南に天城山とか田んぼからよく見える

公共施設が多い

子ども医療費無料

守山、龍城山、葛城山と手軽に登れる山がある

どのお店も空いててよい

史跡がいっぱい、歴史の玉手箱

富士山がとてもキレイにみえる

トマト・イチゴハウスがいっぱい

みんなやさしい、学校が楽しい

日本一の住みごこち

6 パネル展示&フリップ写真

- 市民憲章の策定に向けた取組について市民へ周知するとともに、“伊豆長岡温泉場お散歩市”でフリップ写真の撮影を実施。
- フリップには“伊豆の国市の好きなところ”を記入していただき、写真を撮影。

実施概要

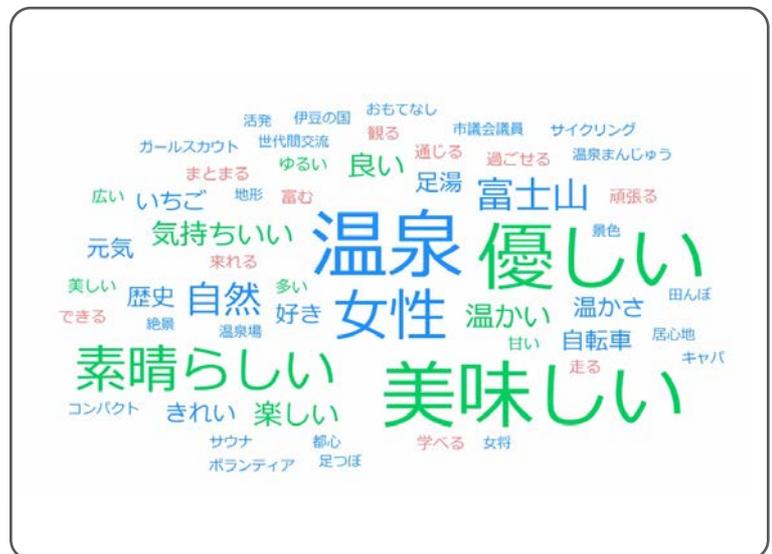
実施日	令和6年1月14日
回答総数	25 件



意見一覧

- 富士山×田んぼ 景色がきれい
- 自然・歴史・温泉と魅力がたくさんある
- お話好きな元気な人がいっぱい 年はカンケーない!!
- 自然と人 すべてが素晴らしい伊豆の国
- 歴史について自転車で学べる
- 美しい富士山 おいしいいちご 温かいおもてない 元気な温泉場
- 自転車で走ると気持ちいい!!
- サイクリングが楽しい 人が温かい 足場を通じた交流ができる
- 変化に富んだ地形がコンパクトにまとまっている 絶景が多い!!
- お魚がおいしい 温泉が気持ちいい
- のびのびとごせる
- 人にやさしい 世代間交流が活発
- 人がやさしい 富士山がきれい!!
- 女性の方たちの活躍が素敵
ママさんたち!市議会議員さんや!ボランティアの皆さん!
ガールスカウトの皆さん!女性の社長の方!
- 都心から気軽に来て温泉と自然でホッ
- みんな笑顔
- 地域の人々がみなやさしい
- あまくておいしいいちご おんせんまんじゅう
- 人の温かさ!!

- みんなやさしいし、みんな楽しいところです
- 足湯と足ツボで健康になる!
- ゆるくてキャパが広い 居心地がいいです
- 観るとこいっぱい おいしい物がいっぱい 頑張ってる人がいっぱい
- 温泉とサウナ そして人のあたたかさ!



集計単語数 518語

11 IZUハンドスタンプアートプロジェクト

- 主に“障がいを持った方・保護者”からの意見を取り込むことを目的に、“IZUハンドスタンプアートプロジェクト”のプロジェクトメンバーと意見交換を行なった。

実施概要

実施日	令和6年4月8日
出席者	3名 <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト代表者 ● プロジェクトメンバー ● 静岡県自閉症協会／伊豆支部相談役

IZUハンドスタンプアートプロジェクト

学校や地域の団体、企業、事業者などから集めた手形でモザイクアートを作ることで、ノーマライゼーション、インクルーシブ社会についての理解を深めてもらい、そのまちづくりを目指すもの。

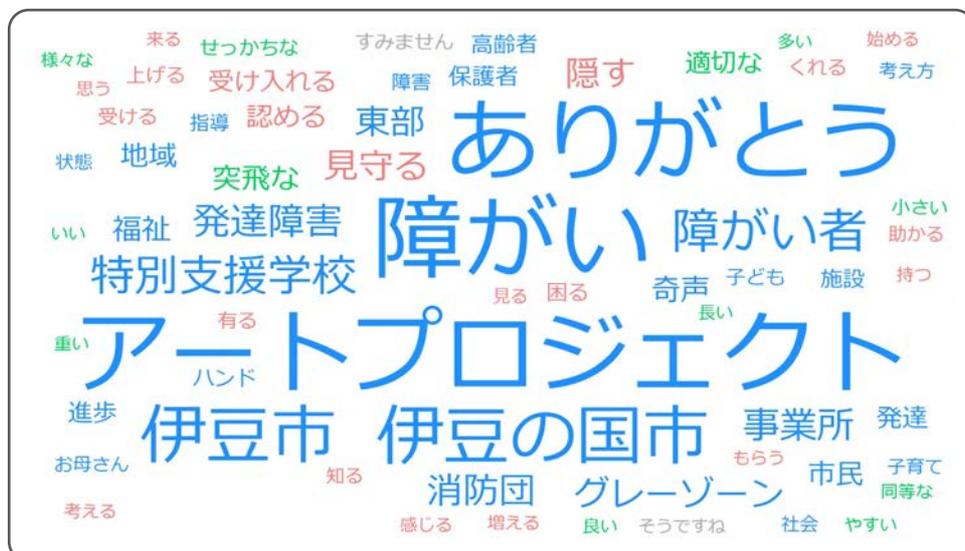


頻出ワード

発達障がい 障がい者 特別支援学校 見守る
 ありがたい 暮らしやすい 頼みやすい 家族
 福祉 地域 市民事業所 隠す
 疑わしい 認める ありがとう

特徴的なワード

いつも「すみません」と謝ることが多いので、「ありがとう」という機会をつくるためにプロジェクトを始めた
 1日でもいいから子どもより長生きしたい
 ノーマライゼーション、インクルーシブの考え方が普及して、障がい者を社会に出られるようにしたい
 障がいの子を育てることと認知症の高齢者への対応は同じこと、誰にでも訪れる
 地域の見張りではなく、見守りが大事



集計単語数 4,894語

12 子育てに関する取組アンケート

- 市の子育て環境や子育てに関する取組について子育て世帯の意見を聞き、子育て支援策を進めていく上で参考にするため、アンケートを実施。

調査方法

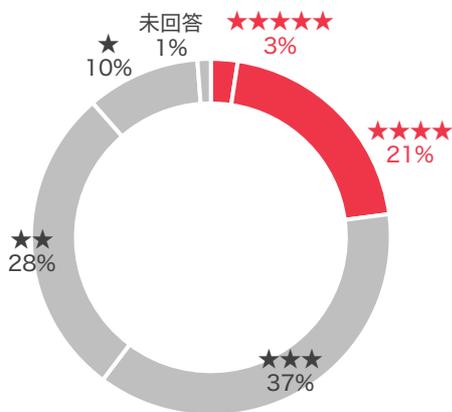
対象者	子育て世帯や子育てに関わっている方
調査方法	LoGoフォームを利用したWEBアンケート
調査期間	令和5年3月3日～令和5年3月17日
周知方法	子育て応援アプリによるお知らせ、LINEによるお知らせ



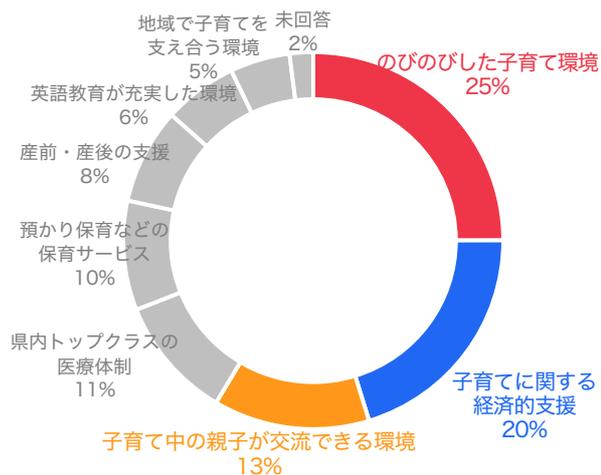
調査結果（一部抜粋）

回答者数	149 件
------	-------

子育て環境に対する満足度（高いほど★が多い）



伊豆の国市で子育てをするのにあたり、魅力を感じる点



よい 昨年の二学期に給食費の無償化をしていただきとてもありがたかった

移住者だが、幼稚園の預かり保育を使うことができ本当に助かっている

未就学児への支援は少しずつありがたさを感じているが、小→中→高と子どもが大きくなるにつれて出費（給食費やPTA会費など）が増えていくので、長期に支援をお願いしたい

現在、働いているため幼稚園の預かり保育を利用しているが、保育園のほうが働いている人にとっては助かるので、近くの保育園に入りやすくしてほしい

放課後学童教室に対する市役所のバックアップ機能の強化

発達障がいを抱える子どもたちの支援に力を入れてほしい

隣の伊豆市は出産準備金、第二子以降保育料無料、小学校入学応援金など、子育て全力宣言の言葉どおり子育ての支援が非常に手厚いのにに対し、伊豆の国市は遊べる場所、イベントなどは充実しているが、金銭的な支援が全くない

妊娠、出産、子育てに関する支援は他の市町に比べて遅れている

以前、保育士の方に言われた「近所の人や近所の先輩ママに聞いてください」のような答え方は二度とやめてほしい

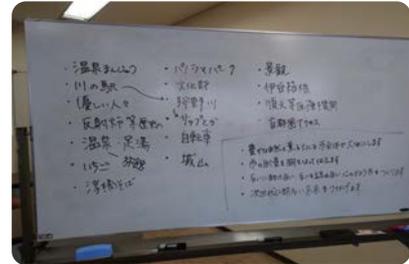
悪い

13 市役所 若手職員ワークショップ

- 市の若手職員から成る市制施行20周年記念事業検討委員会を対象にワークショップを実施。
- 職員10名が2グループに分かれて“伊豆の国市民憲章案を考える”をテーマにしてグループ討議を実施。

実施概要

開催日時	令和5年9月25日
参加者	10名
発表	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループ討議① 次の世代に伝えたい伊豆の国市のよいところ 2. グループ討議② 市民に求められる姿勢や行動 3. まとめ 伊豆の国市民憲章案を考える 4. 発表



討議内容（伊豆の国市のよいところ）

A班

- ほどよい田舎 …………… 市外に出やすい、来やすい
- 大きな河 …………… 自然 あゆ→お菓子
- おだやかな人柄
- 温泉 …………… 落ちつける、ほっとできる
- 歴史がある …………… 身近にある
- 食べ物 …………… いちご 柿 スイカ

やっぱり好き伊豆の国

恋しくなる、戻り（帰り）たくなる、居たくなる
もっとこのまち好きになる

B班

- 温泉まんじゅう
- 川の駅
- 優しい人々
- 反射炉
- 温泉旅館・足湯
- いちご
- 浮橋そば
- パノラマパーク
- 文化財
- 狩野川
- 自転車
- 城山
- 景観
- 順天堂病院

- 豊かな自然と薫る文化を市全体で大切にします
- 市の自慢を胸をはって伝えます
- 互いに助け合い、互いを認め合い、心のかよう市をつくります
- 次世代に明るい未来をつなげます

14 市役所 新規採用職員（総合計画の研修）

- 令和6年度の新規採用職員を対象にした市の総合計画に関する研修でワークショップを実施。
- 新規採用職員の立場から“未来の伊豆の国市をどんなまちにしたいか”について考えてもらった。

実施概要

開催日時	令和6年4月2日
参加者	20名
テーマ	あなたは未来の伊豆の国市をどんなまちにしたいですか？

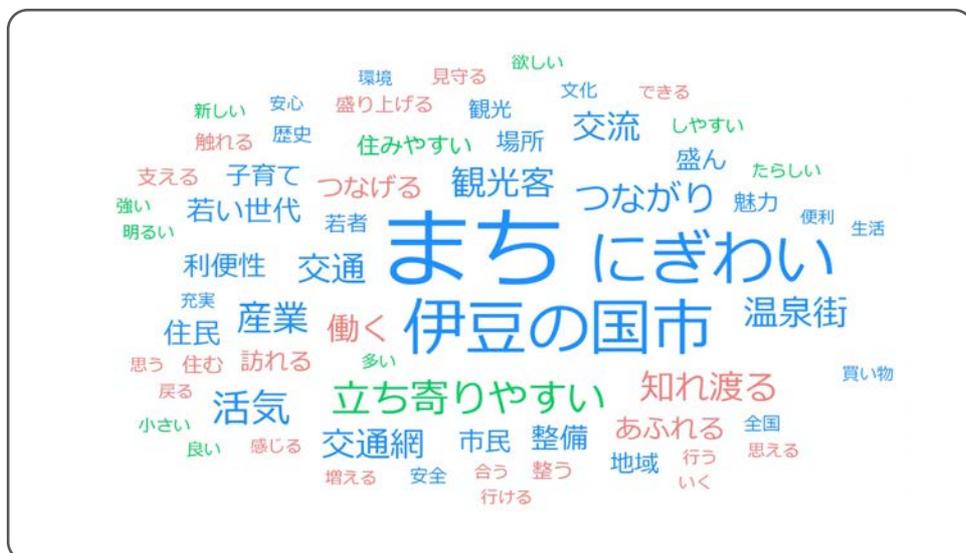


頻出ワード

まち にぎわい 利便性 立ち寄りやすい
 住みやすい 若い世代 子育て つながり
 知れ渡る 市民 交通網 整備 魅力
 あふれる 地域 活気 訪れる 産業 盛ん
 温泉街 しやすい 観光 交流

特徴的なワード

革新的施策、全国に名前が知れ渡るまち
 大学卒業後に戻ってきて、働きたいと思えるまち
 若者のパワーがあるまち、子育て支援の充実
 気軽に歴史にふれられるまち
 そこに誰でも行ける交通手段があるまち
 住民同士で支え合うまち、自助・互助を大切に
 自立して暮らせるまち



集計単語数 2,111語

「#いずのくにぐらし」Instagramフォトコンテスト

- Instagramの写真投稿機能を活用し、「いずのくにって暮らしやすい!」、「いずのくにって楽しい」、「いずのくにっていいところ」など、伊豆の国市の魅力を感じた瞬間を切り取った、「伊豆の国市に住みたい!」と思えるデジタル写真のコンテストを実施した。

実施概要

応募期間	令和5年12月22日～令和6年1月31日
応募資格	自身のInstagramを「公開」している人 ※プロアマ、市内外在住は問わない
投稿数 (投稿写真数)	212件 (382件)
入選作品	最優秀賞1件、優秀賞2件、佳作3件



入選作品

最優秀賞



伊豆の国市の河津桜
(狩野川リバーサイドパーク)

優秀賞



欲張り食べ
(江間いちご狩りセンター)



桜のある風景
(狩野川リバーサイドパーク)

佳作



田んぼの観察
(戸沢地区)



世界遺産の競演
(蔵屋鳴沢の茶畑)



ブレイクタイム
(湯らっくす公園)